

10. 体で一番大切な所

母は、私が小さい時から何回も同じ質問^{しつもん}をしました。「体の中で一番大切な所は、どこだと思う?」と。そして、私の答えはいつも間違^{まちが}っていました。母は「ざんねーん」と言って、答えを教えてくださいませんでした。でも、祖父^{そふ}が死^しんだ時、答えを教えてくださいました。

祖父^{そふ}が亡くなりました。お葬式^{そうしき}の日^ひは、父も母も、家族全員^{かぞくぜんいん}が祖父^{そふ}の死を悲しんで、泣いていました。私は父が泣くのを初めて見ました。

もうすぐ、祖父^{そふ}に最後のお別れを言わなければならない時、母が私に聞きました。

「ねえ。体の中で一番大切な所は、どこだと思う?」

私は「どうして今、その質問^{しつもん}をするの?」と思いました。

母は私が小さい時から、何回もにその質問^{しつもん}をしました。最初にその質問^{しつもん}をしたのは、私が幼稚園^{ようちえん}に通^{かよ}っていた時でした。

「体の中で一番大切な所は、どこだと思う?」

「うーん、耳かな」

その時、私は音楽を聴くのが大好きだったので、そう答えました。

「ざんねーん。耳じゃありません。世の中には耳が聞こえない人もたくさんいるでしょう?耳が聞こえなくても豊^{ゆた}かな人生を送ることができるわよね。もうちょっと考えてみて。そのうち、また同じ質問^{しつもん}をするから」と言って、母は答えを教えてくださいませんでした。

次に覚えているのは、私が小学生の時でした。私は、母の質問^{しつもん}の答えがずっと気になっていました。

「体の中で一番大切な所は、どこだと思う？」

「目。誰でも見えることはとても大事だから、絶対^{ぜったい}に目よ」

私は、自信^{じしん}を持って答えました。

「ざんねーん。目ではありません。世の中には目が見えない人もたくさんいるでしょう？目が見えなくても豊かな生活を送ることができるわよね。もうちょっと考えてみて。そのうち、また同じ質問^{しつもん}をするからね」

また、母は答えを教えてくださいませんでした。

その後、私が中学生になってからも、高校生になってからも、母は同じ質問^{しつもん}をしました。しかし、私の答えに対して、母は「ざんねーん。違いまーす。でも、だんだんいい答えになってる。あなたも成長^{せいちょう}しているのね。もうちょっと考えてみて」と言って、答えを教えてくださいませんでした。

そして、祖父^{そふ}のお葬式^{そうしき}の日に、母はまた同じ質問^{しつもん}をしたのです。

「ねえ、体の中で一番大切な所は、どこだと思う？」

私は「どうして今、その質問^{しつもん}をするの？」と、ちょっとむっとしました。母がいつも同じ質問をして、私が答えて、そして母が「ざんねーん」と、ふざけた言い方をするので、母は真面目^{まじめ}に聞いているわけではないと思っていたからです。でも、今日はそうではありませんでした。

母が言いました。

「今日は答えを教えてくださいあげる」

母はほほえみましたが、目は涙^{めなみだ}でいっぱいでした。

「体の中で一番大切な所は、肩^{かた}よ」

「どうして？」

「それはね。愛する人のために泣きたいとき、^{かた}肩は、頭を預けるのにちょうどいい場所だからよ」

やっと母が答えを教えてくださいました。どうして祖父のお葬式^{そうしき}の日にその質問^{しつもん}をしたのかも、分かりました。今日、母は、私の^{かた}肩に頭を預けてずっと泣いているのですから。

単語リスト：

幼稚園（ようちえん）Trường mẫu giáo

音楽（おんがく）Âm nhạc

葬式（そうしき）Tang lễ

むっとする Bực bội

ふざける Chọc tức

ほほ笑む（ほほえむ）Mỉm cười

（肩に）頭を預ける（かたにあたまをあずける）Dựa đầu (vào vai)